

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価(Structure)[適切な事業運営]									
(1)理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	5	8			法人、こぶし園の方針の理解、独自の理念を明確にし事業所内に掲示し職員の意識統一を行っている。在宅生活を継続・維持できる様サポートする体制を考えサービスを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・明確化されている理念が介護・医療推進会議でも共有されている。 ・職員意識統一出来るよう工夫し、定期的に振り返りしてください
(2)適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	5	8			定期随時の特徴や事業所の理念について認識しており、理念に沿った業務を行うよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の理念について共通認識されている ・理念が明確化されていることで行動化につながっていると思う
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	3	9	1		個人研修を各自で選択し積極的な研修参加に結びつける様にしている。オペレーターは経験を重ねることに向上しているが判断に困る時は助言を求めていることをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の成果を評価していくことでさらに技術向上に努めてください。 ・看護とのカンファレンスは今後も継続してしてください。
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	8	5			職員の能力、特性が発揮されるように配慮されており、不足部分は職員間の話し合いや同行援助で学べるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの能力が十分に発揮できるように配慮されています。能力は更に向上できるように研修や同行訪問等の実施を継続してください ・1人業務が多いので、日頃からのコミュニケーションをとりながら職員の能力把握や不足部分をフォローする体制を構築して下さい。

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき てい ない		
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	3	10			情報の共有は、タブレット、訪問先のチェック表において行われており緊急時は電話での確認を行っている。 看護とのカンファレンスも定期的に行うことで、相互理解の機会が十分に確保されている。	・タブレット端末への適切な記録は大切ですが依存すぎることなく、日々の体調変化など早期対応のためにもその場で電話で報告することでさらにタイムロスなくケアの提供ができるようにしてください。カンファレンスは継続してください。
(3)適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	9	4			利用者、家族の意向取り入れ対応しており、職員配置している。希望の多い朝、夕の時間への配慮はもう少し出来たらと思う。	・柔軟に対応し、かつ利用者に配慮した訪問を行なっている。朝夕はサービスが集中してしまい調整が大変だと思いますが、利用者、家族の意向を取り入れ提供してください。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	会議・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)をサービスの提供に適切に反映させている	3	7	1		会議の回数が減り意見を聞く回数が減ってきているがサービスの参考になることがあり助かっており十分に反映できる様努力している。	・活動状況への理解があつてこそその要望、助言が生まれると思うので限られた機会に十分に理解してもらうように努力を続けてほしい。 ・会議欠席者への会議録の配布は継続してほしい

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(4)適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	5			タブレットにて共有できているが急を要することは電話で直接連絡している	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な情報共有のための手段としてタブレット端末が活用されていると思います。 ・臨機応変に対応している、状況に合わせて使い分けている
(5)安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(安全運転、夜間訪問時の防犯対策、災害時の対応等)	6	7			毎月安全運転を意識向上の為の取り組みを職員間で行っている。各災害に対するマニュアルがあり定期的に災害時の訓練に参加している。近年雪が多い為雪道の対応策の検討が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・冬場の駐車は住宅街もあり苦勞されていると思います。夜間・悪天候時の訪問はご苦勞があると思います。災害時のみならず、アクシデントの際の対応を継続検討して下さい。 ・車両事故に関しては職員の意識も向上されていると思います。早急に雪害における対応を具体的に検討して下さい。職員の安全確保に対して構築して下さい。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	8	5			個人情報の流失を反省し、持ち出し書類は取り扱いのルールに従って行っている。個人情報ファイル等は鍵を掛け取り扱いに注意している。タブレットはロックされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報流出事故を受け、職員一人ひとり個人情報取り扱いに関する意識は向上していると思いますが、定期的に研修する等行い確認を徹底して繰り返さない対処をお願いします。

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
II 過程評価 (Process)									
I. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムの着目した、アセスメントが提案されている	4	9			事前訪問や、退院カンファレンスにてある程度予定を決め訪問提供することを伝えるが、生活リズムに合わせて変更していくことを伝えている。集中する時間帯では本来の希望とはズレてしまうが、説明し了解いただいている。	<ul style="list-style-type: none"> •朝夕のサービス集中する時間の調整が大変だと思いますが、上手く対応していると思います。また状態変化の際には適宜随時訪問をしていただいたり等柔軟な対応も出来ている。 •生活リズムを考えると時間帯が重なることも止むを得ないと思うが優先順位を考え、ケアマネと相談し対応してもらいたい。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	5	8			アセスメントやモニタリングが適切に行われている。情報共有にフェニックスネットは有効に活用していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> •ICTを有効に活用することで情報共有しやすくなっていますが、依存しすぎずに電話連絡するなど合わせて行うことで早い対応ができるようにしてください。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	3	10			在宅生活の継続の為に計画作成がされているが本人の出来ることを見出して計画の見直しが必要な時もあり柔軟に計画変更作成を心掛けている。	<ul style="list-style-type: none"> •心身機能の維持回復に軸足を置いた計画作成は本人様の現在の心身機能の評価が重要になると思います。心身機能に対する理解とアセスメント能力の向上を望みます。
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	2	8	3		訪問看護が入っている利用者は日々の連携のもと状態変化を予測した対応が出来ているが、在宅での医療依存度が低い場合看護師を入れない場合が多くどんな場合でも看護師を導入すれば、早目の対応が出来重篤化せずに済むと思う。	<ul style="list-style-type: none"> •長期的な未来予測を共有し、仮に要介護度が重度化しても医療依存度が高くないような予防的見地から計画作成と介護と看護の一体的提供による「先を見越した」ケアを行うことが重要です。 •訪問看護を導入して良かった事例など提示し、利用者、ご家族様、ケアマネ等に重度化しない前に訪問看護の導入の提案してください。ヘルパーも先を見越した視点を持ったケアを心掛けてください。

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(2)利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	10	3			利用者の体調、家庭の事情、他サービスの入り方によって柔軟な対応を行っている。	・重度化防止(早期発見)を共に柔軟な訪問対応が出来ることは定期随時の強みだと思います。ご苦労があるかと思いますが今後も本人、家族を支えるサービスとして頑張ってください。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	7	6			毎月モニタリングを実施していることで振り返る機会が持て状況変化の早期把握が出来ている。状況に応じ計画の見直しも行われている。	・モニタリングによる状況把握がケアマネや訪問看護にも共有され、計画へも反映されていると思います ・モニタリングから反映して計画書の見直しを行っていただければ本来の介護度も見えてくると思います

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービス提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	4	9			ヘルパーでは医療行為が出来ないため、家族や、利用者に説明し看護より関わって貰っている。ヘルパーは生活支援(排泄、食事)を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族への介護と看護の役割分担の説明や理解は円滑に行われていると思います。 ・ヘルパーの生活支援から見える状態の変化の報告は訪問看護にとっても大事な情報となります。タブレットを活用し情報共有を続けて頂きたい。 ・それぞれの職種の専門性独自性をお互い活かし協働していけると良い。 <p>自己評価実施状況より良くできていると思います。</p>
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	6	7			利用者の状態にて判断出来ない時は早急に相談し指示をもらっている為適切な対応が出来る。予防の為の助言があり助かっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・予防のための助言にはどのような助言がありますか。またその助言を受け適切な支援に「つなげられていますか ・はじめての事例で十分な助言が出来ず反省しています。サービス開始したときは同行や話し合いなど連絡の機会をもつようしていきたいと思えます。 ・前項同様、情報共有があつてこそだと思います。 ・出来ている ・定期的なカンファレンス開催、看護師からの専門知識の提供、共に学ぶ姿が見られました。

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(4)利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるべきものである。	5	8			事前に説明は行っているが理解されていない部分がある時はその後も説明を行うようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・今までも行っていると思うが、今後もサービス開始後の説明や情報提供を続けてほしい ・難しいサービスですので一度で理解するのは難しい。その後の説明に努めていられるので出来ていると思う
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	3	9	1		計画書作成し説明行っているが理解してもらえない部分もあり援助中も説明を行い理解してもらえるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> ・説明不足に感じている部分を意識して利用者・職員間でも目標を共有できるようになると良いと思う。 ・その都度説明されていることで出来ていると思う
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時、適切な報告・相談等が行われている	7	6			早急に対応するようにしているが、緊急時家族等との連絡がつかない時もあるが、必ず報告は、相談は行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況変化に伴うサービス提供の変化についてその都度、家族との情報共有ができていると思います。 ・時に事後報告になることも仕方ないとおもう。家族との信頼関係を築く上でも大事なこととなります。

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決め	5	8			モニタリングにて状況を伝えている。急を要することその都度電話連絡を行い早急に対応を行っている。提供日は決められているが、訪問時の状況の応じて随時訪問は行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況変化が共有され、臨機応変な対応がされていると思います。 ・ケアマネとの連携がどれ位のものかはよく把握できていません。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	2	10	1		利用者の希望があれば相談、提案は行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のきめ細かな生活状況の変化をケアマネと共有しケアプランへの積極的な関与をこれからも行って下さい。 ・利用者の希望だけでなく事業所側からも積極的に提案して行って下さい ・実際にどのような多職種での検討の結果、援助に入った上でケアマネに提案された事例をお聞きしたい。どのような希望があり、どのような提案されていますか
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	8	5			多職種が参加する場には参加するようにしている。参加調整が難しい時は事前に情報を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> ・会議へ参加することで情報提供が出来ていると思います ・会議には積極的に参加されている。もう少しヘルパーの立場からの意見を自信を持って積極的に言えると良い ・管理者、計画作成者が中心だが、日々担当している職員の声的大事と思う

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	2	8	3		担当者会議にて検討されている。援助に入って必要な時ケアマネに提案している。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族等の状況をしっかりアセスメントし包括的なサポートについての提案を積極的に実施を行って下さい。 一番近くで見ているのがヘルパーだと思うので、思ったこと、気づいたことを是非提案してもらいたい。毎日訪問するヘルパーの視点がとても大切に確かなものだと思います。ケアマネへの提案ができていますというので継続していけると良いと思います。 実際の担当者会議に参加しているわけではないのでコメントしにくいですが、多くの職種で利用者の生活について検討することは有意義だと思います。これから頑張ってください。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	6	6	1		退院時カンファレンスに病院内の多職種の参加もあり切れ目のないサービスが継続できるよう情報収集し検討されている。	<ul style="list-style-type: none"> 入院時の情報についてケアマネと情報の共有は行われていますか。(定期巡回随時対応サービスで把握した情報についてケアマネと連携共有して必要な情報提供が行えればよいと思います) 退院時カンファレンスには積極的に参加されスムーズな在宅移行がなされるよう努力している 可能な限り退院前カンファレンスに関係職種が参加することが継続した支援に不可欠と思う 病院としても退院時の連携に力を入れています。今後ともよろしく願い致します。顔の見える関係から一歩進めて困った時は相談できる関係になれるように病院も努力します。

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全く でき てい ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	5	6	2		ケアマネージャーを中心に担当者会議などを通して、他職種での情報共有、連携ができています。フェニックスネットを活用している。	<ul style="list-style-type: none"> 適切な担当者会議等は質の高いケアを実現できると思います。多職種との連携をこれからも続けて下さい。地域包括支援センターとの連携が重要です。 担当者会議以外でも普段から積極的に情報を共有しようとしている姿が見える
3.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1)地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でもできるような方法での情報発信が迅速に行われている	5	6	3		記録はセンター内にあり閲覧できるようになってはいるが、回覧し各職員が確認できるようにすると尚良い。今年度より欠席委員に議事録も渡すことにした。	<ul style="list-style-type: none"> 議事録の回覧しても興味がないと頭に入りません。是非交代し会議に参加するなどみんなで関わることができると良いのでは。 議事録の欠席者への配布は良い
		29	当該サービスの概要や効果等についての、正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	3	7	3		地域の方が対象の活動があるときには広報している。積極的な広報宣伝は行われていない。	<ul style="list-style-type: none"> 事例を用いた「訪問介護」と「定期随時」の違いも含めた情報を地域へ発信していく必要があります。 まだまだ理解されていないサービスでもあり、今後は更に啓蒙活動に力を入れて行っていただきたい 広報の機会があるかどうかによりますでしょうか？積極的にすすめると思います。ホームページなど活用すると良い 評価しにくいです。全くできていないとは思わないです 単独で広報するよりもサポートセンター美沢全体で地域住民へどのようなサービスを提供できるかお知らせすると効果的でないでしょうか。

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
(2) 地域包括システムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分理解している	0	7	6		<p>大まかな理解にとどまっている。個々で理解していないと感じている職員が多く不十分である。</p> <p>・地域包括ケアシステムの実現に向けて高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、また中重度者や医療ニーズの高い方の在宅生活を継続して支えるサービスとしては定期随時は重要な役割を果たすと考えます。当然、定期巡回の事業所単独で地域包括ケアの取り組みが完結するわけではないので、介護と医療のより一層の連携やインフォーマルを含め、情報を共有しながら地域包括ケアシステムの構築に向けて進めていきたいと考えています。定期随時のサービスから見えてきたことをどんどん教えていただきたいと思います。</p> <p>・行政の方針や計画は自ら情報を収集しようとしなければ情報は入ってこない。自分が得た新しい情報は他の職員にも教え共有理解して行ってもらいたい。</p> <p>・日常の業務の中で理解するのは大切ですが、意識していることは難しいのではと思います。事業所全職員把握するのは難しいと思う</p>	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	3	9	1		<p>エリア内に限定せず、広く展開されている。</p> <p>・事業所所在の日常生活圏域内外で広くサービス提供を行なっていると思います。</p> <p>。在宅への提供が主でありすばらしいと思う</p>	

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	1	6	6		<p>地域へ向けた活動(まちのね)には参加し関わりを持つことはある。まちづくりの意識は薄い。</p> <p>地域の方を含めての情報共有は個人情報問題があり家族にとっては壁になっている場合もあるのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムとして当該サービスから見える地域全体のケアの充実、暮らしやすいまちづくり等への積極的に参加する姿勢を求められます。小規模多機能型居宅介護事業所での外部評価の中でも「地域の心配の方等を運営推進会議の場で事例検討されているか」という項目についてほとんどの事業所で個人情報問題から実施されていないという実態がありますが、まちづくりの視点を持って事業運営を行なっていただきたいと思います。 ・評価の難しい項目です。まちづくりと言われると何ができるだろうと考えます。地域住民とのコミュニケーションもひとつではないでしょうか。地域の方からの話しの中で何か課題が見つけれたら良いですね。評価にならなくすみません。 ・定期随時事業所へ期待されている役割と思いますがハードルは高いと思います。 ・医療連携推進会議はまちづくりのひとつのきっかけでもあるのでその場を十分に活用していくことも考えたらどうか ・地域へ向けた活動は必要性は理解しているものの具体的な活動内容を考えることは難しいと思っています。 ・地域の方を巻き込みサポートセンターに気軽に足を運んでもらえるようにことをすすめてもらえると良いです。 ・実働はわかりませんがかわりの中で行って行く努力は十分あると思うので出来ている評価になると思います。

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
Ⅲ結果評価 (Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービス導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	3	10			<p>退院後、すぐに病院に戻るケースもあったが、自宅に戻ることで本人の意欲が向上したケースもある。個々に違いはあるが在宅生活の継続が達成できる様支援している。</p> <p>「在宅生活の継続」のその先の目標は立てられているものでしょうか。「在宅生活の継続」という目標ということで定期随時を含めたサービスの利用により家族の認識が大きく変わった事例はありますか。</p> <p>病状が悪化しやすい方やターミナル期で医療依存度が高いケースも増えて来るのではないのでしょうか。「自宅にいたい」を支える為に例え短い期間であっても定期随時の柔軟な訪問、訪問看護との連携、タブレットでの情報共有を強みにして対応されることをお願いします。</p> <p>日々にかかわりが利用者の生活を支えとなっていると思います。</p> <p>なるべく入退院を繰り返さず自宅で生活できるよう多職種の連携が必要だと思えます。</p> <p>全ての利用者に共通する目標は在宅生活の継続であるが、サービスを利用することでどんな状況でも安心した在宅生活が継続できるんだと言う心強さを利用者、家族は感じていると思う</p> <p>どのような支援が効果的でPDCAサイクルを回していくことが重要</p> <p>会議で利用者事例を聞き、ADLの拡大、意欲向上した例を知りました。生活を支えるサービスとして充実していると思います。</p>	

平成30年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない	
				コメント				
②	在宅生活の継続にする安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	7	6			<p>日中、夜間問わず訪問できること、状況に合わせ複数回訪問できることは、利用者や別居の家族にとって安心につながっている。他のサービス（医療、デイサービス、ショートステイ、リハビリ等）の役割も大きい。</p> <p>利用者や別居の家族にとって安心につながっている。このことは、どのように把握されましたか。</p> <p>非常に良い制度だと思うが、地域が限られていること、希望通りの回数サービスを受けられないなど課題もあるため、もっと拡充すると良いです。</p> <p>24時間の対応は大きな安心感になると思います。訪問看護も助かっています。</p> <p>定期随時を利用することで安心して生活できるという利用者、家族の声はよく聞いている。定期随時があるから在宅生活を継続出来ている人も多く、生活を支える大きな役割を担っていると感じる</p> <p>理念に沿ってサービス提供されている様子が分かります。大変ご苦労されていると思いますが、これからも宜しくお願い致します。</p> <p>定期随時のサービスはもちろん、他のサービスとも併せて提供することで安心した生活が出来ていると思う</p>